



パーティションの設定

- [パーティションの概要, 1 ページ](#)
- [パーティション設定のタスクフロー, 3 ページ](#)
- [パーティションの連携動作と制約事項, 7 ページ](#)

パーティションの概要

パーティションとは次のいずれかの論理グループです。

- ルートパターン
- 電話番号 (DN)
- トランスレーションパターン
- 変換パターン
- ユニバーサルリソース識別子 (URI)
- ハントパイロット

パーティションを作成することで、ルートプランが組織、場所、コールタイプに基づいた論理サブセットに分割されることになり、コールルーティングが容易になります。

パーティションはコーリング検索スペース (CSS) と一緒に機能します。コーリング検索スペースとは、パーティションの順序付きリストです。コーリング検索スペースは、コールを行うときに、IPフォン、ソフトフォン、ゲートウェイなどの発信側デバイスが検索できるパーティションを決定します。

サービスクラス

パーティションとコーリング検索スペース (CSS) を使用してサービスクラスを設定できます。次の表に、PSTN アクセスを提供するサービスクラス用に作成できるパーティションとコーリング検索スペースの例を示します。

- 緊急コール
- ローカル コール
- 国内コール
- 国際ダイヤリング

表 1: パーティションとコーリングサーチスペースの例

[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	ルートパーティション 1	ルートパーティション 2	ルートパーティション 3	機能
Base_CSS	Base_PT	—	—	<ul style="list-style-type: none"> • 緊急 (Emergency) • On-net
LocalPSTN_CSS	PSTN_Local_PT	—	—	<ul style="list-style-type: none"> • 緊急 (Emergency) • On-net • [ローカル (Local)]
NationalPSTN_CSS	PSTN_Local_PT	PSTN_National_PT	—	<ul style="list-style-type: none"> • 緊急 (Emergency) • On-net • [ローカル (Local)] • 国内
InternationalPSTN_CSS	PSTN_Local_PT	PSTN_National_PT	PSTN_Intl_PT	<ul style="list-style-type: none"> • 緊急 (Emergency) • On-net • [ローカル (Local)] • 国内 • 国際

デバイスは自動的に、Base_CSSなどのコーリングサーチスペースに登録されます。これにより、すべてのデバイスでオフネット番号と緊急オンネット番号の両方にダイヤルできるようになります。ローカル7桁またはローカル10桁、国内、および国際ダイヤリング機能を提供するには、ユーザデバイスプロファイルで残りのコーリングサーチスペースを電話番号に割り当てる必要があります。

パーティション設定のタスクフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	パーティションの設定 , (3 ページ)	<p>パーティションを設定して、到達可能性の特徴が類似したシステムリソースの論理グループを作成します。次のいずれに対してもパーティションを作成できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ルートパターン • 電話番号 (DN) • トランスレーションパターン • 変換パターン • ユニバーサルリソース識別子 (URI) • ハントパイロット <p>パーティションを作成することで、ルートプランが組織、場所、コールタイプに基づいた論理サブセットに分割されることになり、コールルーティングが容易になります。</p>
ステップ2	コーリングサーチスペースの設定 , (5 ページ)	<p>コーリングサーチスペースは、デバイスに割り当てられたパーティションの番号付きリストです。コーリングサーチスペースでは、発信側デバイスが電話を終了しようとする際に検索できるパーティションが決定されます。</p>

パーティションの設定

パーティションを設定して、到達可能性の特徴が類似したシステムリソースの論理グループを作成します。次のいずれに対してもパーティションを作成できます。

- ルート パターン
- 電話番号 (DN)
- トランスレーション パターン
- 変換パターン
- ユニバーサル リソース識別子 (URI)
- ハント パイロット

パーティションを作成することで、ルートプランが組織、場所、コールタイプに基づいた論理サブセットに分割されることになり、コールルーティングが容易になります。複数のパーティションを設定できます。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[コール ルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [パーティション (Partition)] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックして新しいパーティションを作成します。
- ステップ 3** [パーティション名、説明 (Partition Name, Description)] フィールドに、ルートプランに固有のパーティション名を入力します。
パーティション名には、英数字とスペースの他にハイフン (-) とアンダースコア (_) を使用できます。パーティション名に関するガイドラインについては、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 4** パーティション名の後にカンマ (,) を入力し、パーティションの説明を同じ行に入力します。
説明には、任意の言語で最大 50 文字を使用できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、山カッコ (<>)、角括弧 ([]) は使用できません。
説明を入力しなかった場合は、Cisco Unified Communications Manager が、このフィールドに自動的にパーティション名を入力します。
- ステップ 5** 複数のパーティションを作成するには、各パーティション エントリごとに 1 行を使います。
- ステップ 6** [スケジュール (Time Schedule)] ドロップダウン リストから、このパーティションに関連付けるスケジュールを選択します。
スケジュールでは、パーティションが着信コールの受信に利用可能となる時間を指定します。[なし (None)] を選択した場合は、パーティションが常にアクティブになります。
- ステップ 7** 次のオプション ボタンのいずれかを選択して、[タイム ゾーン (Time Zone)] を設定します。
- [発信側デバイス (Originating Device)] : このオプション ボタンを選択すると、発信側デバイスのタイムゾーンと [スケジュール (Time Schedule)] が比較され、パーティションが着信コールの受信に使用できるかどうか判断されます。
 - [特定のタイムゾーン (Specific Time Zone)] : このオプション ボタンを選択した後、ドロップダウンリストからタイムゾーンを選択します。選択されたタイムゾーンと [スケジュール

(Time Schedule)] が比較され、着信コールの受信にパーティションが使用できるかどうか
が判断されます。

ステップ 8 [保存 (Save)] をクリックします。

関連トピック

[パーティション名のガイドライン, \(5 ページ\)](#)

パーティション名のガイドライン

コーリング検索スペースのパーティションのリストは最大 1024 文字に制限されています。つまり、CSS 内のパーティションの最大数は、パーティション名の長さによって異なります。次の表を使用して、パーティション名が固定長である場合のコーリング検索スペースに追加できるパーティションの最大数を決定します。

表 2: パーティション名のガイドライン

パーティション名の長さ	パーティションの最大数
2 文字	340
3 文字	256
4 文字	204
5 文字	172
...	...
10 文字	92
15 文字	64

コーリング検索スペースの設定

コーリング検索スペースは、通常はデバイスに割り当てられるルートパーティションの番号付きリストです。コーリング検索スペースでは、発信側デバイスが電話を終了しようとする際に検索できるパーティションが決定されます。

はじめる前に

[パーティションの設定, \(3 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [名前 (Name)] フィールドに、名前を入力します。
各コーリングサーチスペース名がシステムに固有の名前であることを確認します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、およびアンダースコア (_) を任意に組み合わせて含めることが可能です。
- ステップ 4** [説明 (Description)] フィールドに、説明を入力します
説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、山カッコ (<>) は使用できません。
- ステップ 5** [使用可能なパーティション (Available Partitions)] ドロップダウンリストから、次の手順のいずれかを実施します。
- パーティションが 1 つの場合は、そのパーティションを選択します。
 - パーティションが複数ある場合は、コントロール (Ctrl) キーを押したまま、適切なパーティションを選択します。
- ステップ 6** ボックス間にある下矢印を選択し、[選択されたパーティション (Selected Partitions)] フィールドにパーティションを移動させます。
- ステップ 7** (任意) [選択されたパーティション (Selected Partitions)] ボックスの右側にある矢印キーを使用して、選択したパーティションの優先順位を変更します。
- ステップ 8** [保存 (Save)] をクリックします。
-

パーティションの連携動作と制約事項

パーティションの制限

表 3: パーティションの制限

機能またはアクション	制約事項
パーティションの削除	<p>パーティションを削除する前に、次のいずれかのタスクが完了していることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none">• コーリングサーチスペース、デバイス、または削除するパーティションを使用しているその他の項目に異なるパーティションを割り当てる。• コーリングサーチスペース、デバイス、または削除するパーティションを使用しているその他の項目を削除する。 <p>削除されたパーティションは取得できなくなるため、正しいパーティションを削除していることを慎重に確認してください。誤ってパーティションを削除した場合は、それを再構築する必要があります。</p>

